

ダラースポットと炭疽病の薬剤耐性対策のポイント

今の季節、グリーンキーパーを悩ます2大病害

DMI剤（EBI剤）やSDHI剤を
連用、多用していませんか？
同系統の殺菌剤の連用は、
薬剤耐性病害の発生を
助長する恐れがあります。

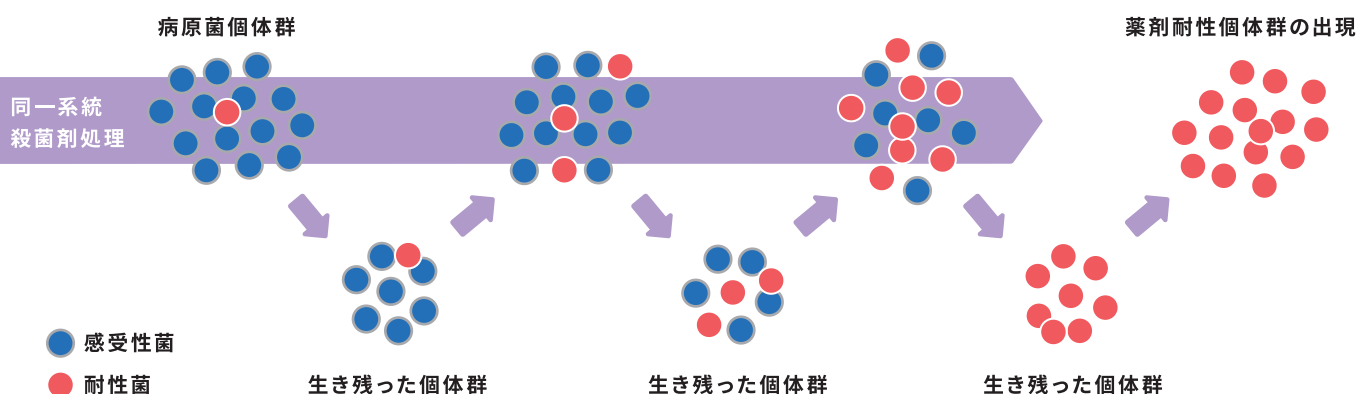


ダラースポット病



炭疽病

薬剤耐性病害の発生とは？



※同一系統の殺菌剤の連用により、耐性を有した個体の割合が次第に高くなり、
最終的には薬剤耐性個体群が出現、連用していた系統の殺菌剤は効果が著しく低下します

薬剤耐性病害の発生を防ぐには？

- ✓ 別系統の殺菌剤のローテーション散布を実施する
- ✓ 系統の異なる殺菌剤の混用もしくは混合剤を使用する

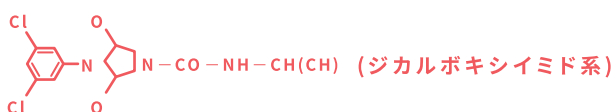
薬剤耐性マネジメントに必須の一剤

インターフェース® フロアブル

有効成分
イプロジオン(ジカルボキシイミド系)
トリフロキシストロビン(Qol系)

インターフェースの作用性

イプロジオン(一部浸達性)



浸透圧シグナル
応答伝達経路に作用

500以上の遺伝子制御の経路

分生子形成阻害

菌糸伸長阻害

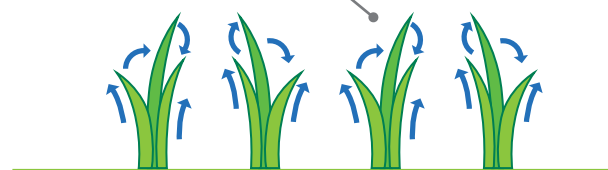
胞子発芽阻害

トリフロキシストロビン(浸達性)

トリフロキシストロビンのユニークな作用性
(バリア効果)

3ステップ で効くバリア効果

- 1 ワックス層への吸着
- 2 植物表面での拡散
- 3 浸達性



呼吸阻害 Qol剤はミトコンドリア内膜に存在するComplex IIIの電子転移を阻害し、呼吸を妨げ病原菌を死に至らせる

- ✓ 2つの有効成分の相加効果で、高い薬効と耐性菌出現リスクの低減を同時に実現！
- ✓ なかなか止まらないダラスポットを一発解決！

ストレスガード製剤予防散布プログラムで さらに高い防除効果

 シグネチャー®
WDG

 ミラーージュ®
フロアブル

サマーデクラインを予防し、
病気に強いグリーンを作りましょう

予防散布例(関東地方南部を想定)

		薬剤 ※ ()内は㎡当たりの薬量(g, mL)を示す	
4月			
5月	中旬	ミラーージュ(0.5)	プロテクメート(1)
	下旬	シグネチャー(1)	TPN
6月	上旬	プロテクメート(1)	TPN
	中旬	インターフェース(1)	
	下旬	シグネチャー(1)	TPN
7月	上旬	シグネチャー(1)	TPN
	中旬	ミラーージュ(0.5)	ピシウム剤(ローバー)
	下旬	シグネチャー(1)	
8月	上旬	シグネチャー(1)	ピシウム剤 (フェニルアミド)
	中旬	プロテクメート(1)	
	下旬	シグネチャー(1)	ピシウム剤 (テトラゾリルオキシム)
9月	上旬		TPN
	中旬	プロテクメート(1)	TPN
	下旬		